



南小だより

櫛引南小学校
令和7年2月26日



伝統のバトン

校長 奥山 徹

マスコミ等の天気予報で「この冬一番の寒気到来!」「この冬は大雪要注意!」などの見出しを何度か目にしましたが、これまでの除雪車の出動回数の少なさをみると、やはり地球温暖化が進んでいるのかなー、と考えてしまいます。「三寒四温」の季節もそう遠くないのかもしれませんが。

さて、いよいよ3月に入ります。令和6年度の「まとめ」「締めくくり」の時期です。これまで学習してきたことの定着を確認したり、自分が身につけた力をどう活用していくのかを試し、ワンランクアップの学習に取り組んだりしていきます。この時期に「勉強の楽しさ」に改めて気づく子どもたちが多く見られることを期待しています。そして、3月は6年生から下級生への引き継ぎの時期であります。リレーで言えば「バトンゾーン」にあたります。このバトンには、6年生と下級生のそれぞれの思い・願いが詰まっていると思います。6年生は「これからの南小をたのむぞ!」「南小をもっと笑顔があふれる学校してくれよ!」という気持ちを託してバトンを渡し、下級生は「今までありがとうございました」「これからは自分たちに任せてください」「南小にもっと笑顔があふれるようがんばります!」という感謝と決意の気持ちでバトンを受け取ります。櫛引南小学校では、このようにして**61年間**バトンをつないできました。

(櫛引南小の前身である玉泉学校(東荒屋)、天龍学校(西荒屋)、京陽学校(松根)まで遡れば**147年間**のバトン渡しです!)バトンを渡してくれた卒業生にあこがれ、一步でも近づこうと努力し、そのバトンを丁寧に引き継いでいく……この営みの継承が南小の伝統を築いてきました。これまで南小のバトンをつないでくれた卒業生が地域にはたくさん住んでいらっしゃいます。もちろん、本校の保護者の中にもいらっしゃいます。数え切れないほどの人たちの思い・願い・希望・汗がしみこんだこのバトンをこの3月、見事につないでくれることを心から願っております。



南小 50-50 達成!

11/27 発行の『南小だより』で「読書冊数100冊超えの人数」と「全員が登校した日数」がもうじき50人と50日を超えそうだとお伝えしました。(11月下旬の時点で35人と44日)そして、この2月で見事達成できました。**読書冊数100冊超えの人数が59人、全員が登校した日数が57日(2/20時点)**です。**50-50**超え、おめでとうございます!

